

(平成29年6月作成)

事務事業評価シート

(H.29)No.	2001	(H.28)No.	2001
-----------	------	-----------	------

事務事業名	災害一時扶助費		
担当部局名	担当室名	室長名	
福祉子ども部	生活支援室	山本明志	

会計区分	事業コード	120507
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 民生費	社会福祉総務費	
項 社会福祉費	(小事業名)	
目 社会福祉総務費	災害一時扶助費	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2	美しい自然に包まれ快適に暮らせるまち
	基本施策	3	安全で安心なまちづくり
	施策	1	防災・減災
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
被災された市民に対して市として見舞い、生活再建への一助となることを期する。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.28年度(事業量・取組実績)	H.29年度(事業量・取組計画)	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	<火災見舞金> ①全焼 2件: 60,000円 ②半焼 0件: 0円	<火災見舞金> ①全焼5件: 15万円 ②半焼2件: 3万円	同左	同左	同左

事業内容
災害救助法適用外の災害により被災された市民に対し、名張市災害見舞金支給要綱に基づき、災害見舞金品又は弔慰金を支給 ①全焼・全壊・流失: 30,000円/世帯、②半焼・半壊: 15,000円/世帯、③死亡: 50,000円/人、④2週間以上入院した負傷者: 20,000円/人、⑤区の区域内で発生した災害の応急措置及び救護活動を行ったとき: 30,000円以内、⑥救護物品: 被災者1人当り毛布一枚

	H.28年度(決算見込)		H.29年度(作成時予算額)		H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)
	H.27繰越分	H.28現年分	H.28繰越分	H.29現年分			
①直接事業費		60千円		180千円	180千円	180千円	180千円
内訳(千円)							
国・県支出金							
地方債							
その他()							
一般財源	0	60	0	180	180	180	180
人工数							
職員		0.20人		0.25人	0.25人	0.25人	0.25人
臨時職員等							
②概算人件費	0千円	1,500千円	0千円	1,875千円	1,875千円	1,875千円	1,875千円
①+②総事業費	0千円	1,560千円	0千円	2,055千円	2,055千円	2,055千円	2,055千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.28年度(取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
<記載省略> 点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)のため

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	
今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)	<記載省略> 点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)のため

6. 事務事業の取組に係る市の計画

--